



夏季死亡災害ゼロ101日運動通信

【運動期間：令和7年6月1日～令和7年9月9日】

令和7年
8月号

運動期間 残り1か月！！

～夏季死亡災害ゼロ101日運動の 重点内容の再確認をお願いします～

現在「夏季死亡災害ゼロ101日運動」を展開中です。各職場での積極的な取組みの成果もあり、運動期間の半分以上が過ぎた現段階で死亡災害は発生していません。この資料がお手元に届くころには運動期間も残り約1か月となっていることと思いますが、死亡災害ゼロを達成するために、各事業場においては、引き続き安全衛生管理体制を強固なものとし、労働者一人ひとりの安全衛生意識の高揚を図り、労使双方の協力のもと労働災害の防止への積極的な取組みをお願いします。

4つの重点

- 熱中症を防ごう！
- 墜落災害をなくそう！
- 機械設備による労働災害をなくそう！
- 車両系機械による労働災害をなくそう！



重点に係る具体的な実施事項は運動リーフレットをご確認ください



熱中症対策を進めましょう！！

～今シーズンは観測史上最高を更新 今後まだまだ暑さ続く！！～

二十四節気のひとつ「大暑」の7月22日、全国さらに岩手県内の多くの地点で猛烈な暑さとなる中、一関では最高気温38.3 と観測史上最も高い気温を更新しました。

昨年（最高は7月に36.6）は10月まで30以上が続いていましたので、今シーズンもまだしばらくは暑さ対策が必要になりそうです。

～連続休暇後には暑熱順化が喪失します～

暑さに身体が慣れることを「暑熱順化」と言いますが、夏季休暇等のため熱へのばく露が中断すると4日後には暑熱順化の顕著な喪失が始まります。



このため、夏季休暇等の連続休暇明けの仕事の行ない方としては、作業時間を徐々に伸ばすなど調整し、発汗しやすい服装等で作業負荷をかけ、個人の健康状態を確認しながら7日以上かけて実施しましょう。職場以外でも、個人の運動、入浴等日常生活で無理のない範囲で汗をかくようにすることで可能です。

また、休暇中の活動状況をヒアリングするなどして、休暇中に発汗を伴うスポーツ等を行っていなかったような場合には、必要に応じて、暑熱順化期間の延長や、追加の暑熱順化を行うことも考えられます。

キャンペーン期間(5月～9月)にすべきこと

STEP 1 暑さ指数の把握と評価

STEP 2 測定した暑さ指数に応じた対策を徹底

- ☐ 暑さ指数の低減
- ☐ 服装
- ☐ プレクーリング
- ☐ 暑熱順化への対応
- ☐ 日常の健康管理
- ☐ 異常時の対応
- ☐ 休憩場所の整備
- ☐ 作業時間の短縮
- ☐ 水分・塩分の摂取
- ☐ 健康診断結果に基づく対応
- ☐ 作業中の労働者の健康状態の確認

～職場への掲示や安全衛生教育に 「熱中症ガイド」をご活用ください～

本ガイドは誰にでも視覚で理解できるよう、文字を減らし、わかりやすい内容としております



熊 に注意しましょう！！

出典 岩手県発効の「クマに注意！」リーフレット

今年は、熊の目撃と被害が多く報告されており、社会問題にもなっています。

普段の生活に限らず、業種によっては熊に遭遇する可能性が高いお仕事もあると思われますので、

『熊に出会わないための方法』

『もし出会ってしまった場合の方法』を学んでおき、備えておきましょう。

～ 仕事中に熊に出会わないために～



もし熊に出会ってしまったら...

～ 会ったときの行動～



～ 襲われそうになったら～

労働災害の発生状況

- ◆ 一関労働基準監督署管内で令和7年に発生した休業4日以上労働災害による死傷者数（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）（6月末現在）は全産業において71人で、前年同期比で+14人となりました。
- ◆ 主な業種別では、製造業が22人（前年同期比+9人）、建設業が8人（同-5人）、運輸交通業が8人（同+3人）、商業が7人（同+1人）、保健衛生業が10人（同+1人）などとなっています。
- ◆ 事故の型別では、「転倒」が28人（同+10人）、「墜落、転落」が19人（同+7人）、「はさまれ、巻き込まれ」が6人（同+4人）などとなっています。
- ◆ 今年も年代が高いほど被災者が多い特徴に変化がなく、とくに60代での発生が最も多い状況となっています。（「イザ！ 助けて！ リーダーライン」への取り組みが必要）
また、6月末統計は、前月分から7人増えたうちの半数以上の4人が保健衛生業によるものでした。

労働災害事例（6月把握分の一部）

運送業 ○事故の型：墜落、転落 ○休業見込み：6か月 ○50代男性（経験年数10年以上）

顧客構内駐車場で、荷締め後、荷台からステップを使い降下中、ステップを踏み外し、高さ1m地点から墜落した。（肩の腱板断裂など）

保健衛生業 ○事故の型：転倒 ○休業見込み：約40日 ○60代女性（経験年数40年以上）

訪問支援業務を終え、駐車場から事業所へ戻る途中に、道路の溝にはまって転倒した。（趾骨折）

保健衛生業 ○事故の型：転倒 ○休業見込み：3週間 ○50代女性（経験年数1年）

病院内の洗浄室で、衣装ケース1段分くらいの用品をシンクに運んでいるとき、濡れていた床で滑り、前のめりになって前方にあった機械にぶつかった。（脇腹の打撲）

一関監督署受信専用メールアドレスの開設について

事業場の労務管理・安全衛生担当者からの受信専用として

ichinosekirouki@mhlw.go.jp

を開設していますので、是正報告などにご利用ください。

